

1 水産試験場の沿革

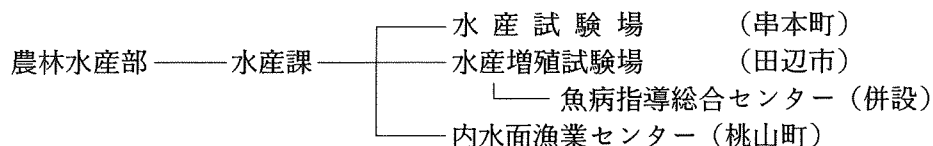
- 明治35年 4月 和歌山県水産試験場開設、県庁内に事務所を置く。
- 明治37年 1月 西牟婁郡串本町に庁舎を建設し、移転する。
- 大正13年 7月 西牟婁郡田辺町（現 田辺市）へ移転する。
- 昭和24年 4月 水産試験場は戦後廃止されていたが再発足（田辺市元町）。
- 昭和42年 4月 西牟婁郡串本町に移転、総務課・海洋部・漁労部・化学部・応用部の1課4部制とし、増養殖部門は分場として田辺市に残る。
- 昭和43年 8月 増養殖分場を和歌山県水産増殖試験場として、独立発足させる。
- 昭和49年 7月 機構改革により、総務課・資源部・開発部の1課2部制に統合する。
- 昭和53年 7月 漁業無線局廃局、漁業指導用海岸局として田辺漁協へ管理移管する。
- 平成9年 4月 漁民研修所を廃止し、水産試験場総務課を総務研修部に改める。

2 所掌事務

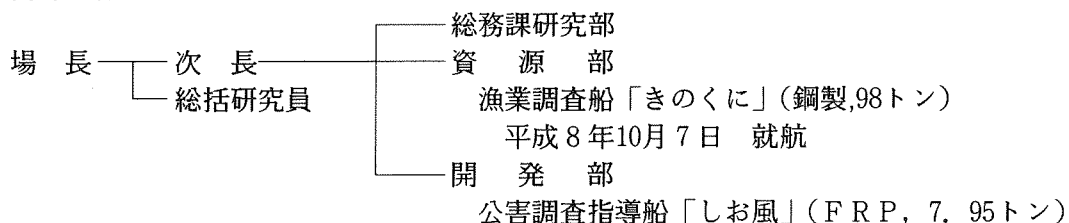
- (1) 水産資源の調査研究に関すること。
- (2) 海況及び漁況の調査、研究並びに情報提供に関すること。
- (3) 水産物の加工利用に関する調査、試験及び研究に関すること。
- (4) 水産技術の普及に関すること。
- (5) 水産に関する調査、試験、研究及び情報提供に関すること。

3 機構と組織

機 構



内部組織



4 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計	備 考
場 長		1		1	総務研修部事務事務取扱
次 長	1			1	
総括研究員		1		1	
総務研修部	1		1	2	
資 源 部	4	6	3	13	
開 発 部		5	1	6	
合計	6	12	5	24	

5 職員の事務分担

	職名	氏名	事務分担
	場長	加来靖弘	場の総合企画および総括
	次長	北地五男	場長の補佐、職員の人事・服務・予算の総括・公印の管理、作業印賃金、委託料・使用料及び賃借料の歳出事務
	総括研究員	難波武雄	場の企画・連絡調整、水産技術の研修・普及・広報
総務 研修部	主査	小林秀司	歳入歳出事務、文書の収受発送、物品の調達、給与・旅費・共済・互助会事務、庁舎・公用車の管理
	用務員	田中千秋	環境美化、その他の雑務
資源部	部長	渡辺勇二郎	部の総括・企画調整
	主任研究員	竹内惇一	漁海況調査（海況、サンマ・曳網・モジャコの漁況）、カツオ・マグロ資源調査、人工衛星画像解析
	主査研究員	吉村晃一	卵稚仔・プランクトン調査、シラス調査、底魚資源管理
	主査研究員	中地良樹	漁海況調査、人工衛星画像解析、定地水温観測、カツオ・マグロ資源調査、スルメイカ調査
	研究員	向野幹生	漁海況調査、浮魚資源調査、タチウオ・スルメイカ調査
	研究員	諏訪剛	卵稚仔調査、浮魚資源調査、タチウオ・スルメイカ調査
	船長	藤井一人	調査船運航管理、海洋調査・観測
	機関長	甲山忠	調査船の機関管理、海洋調査・観測
	航海士	小西寛弥	調査船運航、海洋調査・観測
	機関士	岸幸一	調査船機関操作、海洋調査・観測
	船員	田中徹郎	甲板業務、海洋調査・観測
	船員	河田進一	甲板業務、海洋調査・観測
船員	堀浩一	機関操作、海洋調査・観測	
開発部	部長	堀木信男	部の総括・企画調整、栽培資源調査（マダイ・クルマエビ）
	主査研究員	濱地寿生	磯根漁場（イセエビ）、環境保全、放流資源調査（クルマエビ）
	主査研究員	小川満也	漁場造成技術・効果調査、栽培資源調査（アワビ）、赤潮調査
	研究員	山内信	磯根漁場調査（藻場・アワビ）、赤潮調査、貝毒調査
	研究員	上山貴士	赤潮・貝毒調査、環境保全、磯根漁場調査
	船員	海老名要一	公害調査船「しお風」の運航管理

6 平成9年度の事業予算と財源内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳			
		国庫補助金	国庫委託金	民間委託金	一般財源
水産試験場費	88,483	2,694	29,202	3,150	53,437
水産試験場運営	17,924				17,924
漁民研修	1,114				1,114
調査船運航	21,077				21,077
漁海況予報	3,996	1,955			2,041
人工衛星画像解析システムの運用	2,613				3,613
漁業資源調査	12,627		12,627		
ブリ種苗放流技術開発	2,100			2,100	
本州四国連絡架橋影響調査	1,050			1,050	
日本周辺高度回遊性魚類調査	1,179		1,179		
漁場生産力モデル開発基礎調査	8,000		8,000		
赤潮貝毒監視調査	1,478	739			739
貝毒被害防止対策	1,196		1,196		
海域特性による赤潮被害防止開発試験	1,700		1,700		
養殖漁場環境保全技術開発試験	1,671				1,671
資源管理型漁業技術開発試験（藻場）	1,966				1,966
磯根漁場機能回復試験	2,780				2,780
人工礁漁場造成事業効果調査	4,000		4,000		
資源管理型等沿岸漁業技術開発	500		500		
海底地形探査	512				
水産振興費	10,257		4,542		5,715
資源管理型漁業推進総合対策	10,257		4,542		5,715
（広域回遊性資源調査：マダイ・ヒラメ）	7,645		3,822		3,823
（放流資源共同管理事業：クルマエビ）	1,440		720		720
（栽培漁業推進：アワビ類）	1,172				1,172
漁業構造改善費	1,839				1,839
漁場保全対策推進	150				150
沿岸漁場整備開発事業関連効果調査	1,689				1,689
合 計	100,579	2,694	33,744	3,150	60,991

7 平成9年度漁民研修事業

1) 「ノリ」の研修会

開催日時 平成9年9月9日

開催場所 和歌山市 紀三井寺「はやし」

研修会の目的・内容 「ノリ」の流通動向、について生産者に理解を得る。

講師 大森本場乾海苔問屋協同組合、常務理事 大橋則一氏

受講者・人員 海苔養殖業者及び関係者、21名

備考 和歌山県漁連との共催

2) 漁協婦人の研修会

開催日時 平成9年10月16日

開催場所 田辺市、市民総合研修センター

研修会の内容 「大衆魚の上手な利用について」 理解を得、調理実習を行う

講師 南部町漁協 婦人部長 東 里子氏

受講者・人員 南部町-すさみ町の6漁協の婦人部、17名

3) 漁協婦人の研修会

開催日時 平成9年10月17日

開催場所 那智勝浦町、町民センター

研修会の内容 「魚を利用した健康食、魚の栄養価について」 理解を得、調理実習を行う。

講師 南部町漁協 漁婦連協議会 柴崎 安子氏

受講者・人員 東牟婁管内13漁協の婦人部、25名